

羽衣国際大学 令和四年度入学式 式辞

春爛漫の今日の佳き日、ここに羽衣国際大学令和四年度入学式を挙行できますことは、本学にとって大きな慶びです。

ただいま現代社会学部 一八二名、人間生活学部 一〇九名の入学を許可いたしました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませす。またこのたび入学される新入生を育て、支えてこられたご家族の皆様も、たいへんお喜びのことと存じます。本日は、羽衣国際大学の教職員を代表して、心からお祝い申し上げます。

蔓延防止重点措置等は解除されたとはいえ、予断を許さない現下の感染症の状況に鑑み、本年もご来賓をお招きすることが叶わず、新入生の皆さんと少数のご家族の方々、そして大学教職員のみで、規模を縮小して本式を執り行うことと致しました。ここに改めてお詫び致しますとともに、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスによる感染症が二年前から蔓延し、世界はその対策に振り回されました。本日入学され

る皆さんも、高校や塾などに通うことも、各種の課外活動もままならず、辛い思いをされてきたと思います。不安と闘いながら高校生活を送り、進学の準備を進め、本日の入学式を無事迎えられたことに、心からお祝い申し上げます。

さて本学は一九二三（大正十二）年に、鳥村育人先生らによって設立された羽衣高等女学校を起源としています。女子に高等教育は不要であるという当時の常識に異を唱え、女性もまた豊かな教養と高度な専門知識を持った社会人とならなければならないという信念のもとに設立されました。鳥村育人先生は、「羽衣高等女学校第一期生に大きな期待と誇りを持って、「あなたが本校に在学をすることは本校の名譽であります」という言葉をかけられました。私もまずこの言葉を新入生の皆さんに贈りたいと思います。

戦後、羽衣高等女学校は、羽衣学園中学校・高等学校となり、一九六四（昭和三九）年には羽衣学園短期大学が設立されました。その後二〇〇二（平成一四）年に短期大学を一部改組転換して、男女共学の四年制大学として設置されました。今年大学は開学二十周年を迎えます。

学園の建学の精神は、『『愛真教育』を基盤とした『自由・自主・自律・個性尊重の人間教育』です。これを言い換えるならば、「時代の常識を疑い偏見や臆断から自由であること、つねに自主的に物事に取り組み考え

ること、謙虚さを持つて自らを律すること、そして自ら同様に他者の個性を尊重する」人間性育成の精神です。このような人間性を備えた「これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成」こそ、本学の目的・使命であると考えています。

今後、日本社会は少子高齢化に伴い、これまで以上に多様な背景を持った人材を受け入れることになりま
す。同じ国で生まれ育った人同士であつても、また同じ文化をルーツとする者同士であつても、他者を理解し、
多様な個性を尊重することは、ときに容易ではなく、残念ながら激しい対立や暴力に発展することもありま
す。異文化をバックボーンに持つ者同士であれば、なおのこと難しく感じることがあるでしょう。

本学では、開学当初より多くの留学生が学び、社会に巣立ちました。今日もまた故郷を遠く離れ、ここ羽
衣の地で学ぶ意欲を胸にした多くの留学生を、本学の一員として迎えることができました。新入生の皆さん
には、国籍を問わず学生同士の交流を深め、文化的背景の異なる友人を見つけられることを願っています。
そして自らの文化と異文化に関する知識を身につけた、開かれた精神で他者に接することのできる人になつて
ほしいと思います。

また今日から始まる四年間は、ほとんどの新入生にとって、自分の疑問を自由に追求できるまとまった機会

としては、社会に出る直前の最後の貴重な時間です。大学での学びは、すでに確立した知識を一方的に受け取るだけの学びではありません。

世界に目を向けても、これまでの長い歴史のなかで歳度となく繰り返されてきた感染症の蔓延や戦争が、二十一世紀の現代においても起こっています。皆さんの身近なところでも、もしかするといじめなどの問題を目にされたこともあるかもしれません。私達の前には、解決に向けて取り組むべき課題がまだまだ数多くあります。

新入生の皆さんは、高校までの、ともすれば受け身になりがちであった学びの姿勢をリセットして、さまざまなことについて「そういうもの」として受け流すのではなく、一歩立ち止まって「なぜ、そうなのか」と疑問を持つてください。そして教員と学生の間、また学生同士で学び合う場である大学で、自らの考えを培い、自身の未来像を描き、大きく変化する時代に力強く羽ばたく力を養ってください。

在学中には、地域、企業、自治体などと連携した学外での学びや海外への留学など、オフ・キャンパスで学ぶ機会をぜひ活用して、日常生活では触れにくい現実と接し、広い世界を実感してほしいと思います。

さまざまな専門分野で研究や活動を実践する教員や、皆さんの学生生活全般を支援する職員が、ともに

皆さんの成長を心より願っています。

新入生の皆さんが本学入学を自己自身の新たな出発点とし、これからの共生社会を創り主体的に行動する実践的職業人として、個性豊かに成長されることを願って、入学式の式辞といたします。

令和四年四月三日

羽衣国際大学学長 中川 恵